

《事故情報》

廃品の切断作業中にガス爆発事故（1名死亡）

（一社）大阪府高圧ガス安全協会
事務局

令和7年6月30日午前8時45分頃、広島県三原市の佐木島の船体部品製造工場でガス爆発事故があり、消防に「60代の男性がガス爆発で吹き飛ばされた」との通報がありました。

この事故により、男性は意識不明の重体で病院に運ばれましたが、その後、死亡が確認されました。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

（1）発生日時：令和7年6月30日（月） 午前8時45分頃

（2）発生場所：広島県三原市の佐木島の船体部品製造工場内

（3）作業状況：60代の男性が廃品を回収するために工場を訪れていた。

他の作業員が「ガス切断機」で廃品の栈橋を切断していた際、何らかの理由でガスに引火して爆発し、その60代の男性が巻き込まれた。

（4）物的被害：物損は不明

（5）人的被害：巻き込まれた60代の男性は意識不明の重体で病院に運ばれたが、その後、死亡が確認された。

他に数人が作業などをしていたが、ほかにけが人はいなかった。

（5）事故原因：可燃性ガスの漏洩と滞留。そして何らかの着火源が発生した。

①可燃性ガスの供給源及びガス供給経路での接続部（ネジ部等）の漏洩チェックは適切に行われていたか。

②可燃性ガスが漏洩した時、滞留する可能性のある場所を考え、警報器設置を考慮したか。

③着火源の要因として「逆火」が想定される。

逆火しないような操作手順であったか。操作手順は遵守されていたか。

逆火防止器は適切に使用されていたか。

高圧ガスの漏洩は大きな事故につながります。高圧ガスは危険物であることを認識し、漏洩チェック・対策を現場作業員に周知・徹底願います。

2. 報道記事（中国放送ニュースを参考に添付します）

（1）インターネット情報

「広島 三原市 ガス爆発」で検索すると、その他記事も出てきます。

【速報】「ガス爆発で吹き飛ばされた」作業中に引火か 廃品の回収で工場を訪れた男性会社員（60）が死亡 広島県三原市の工場

6/30(月) 11:19 配信 159



広島県三原市の佐木島（鷺浦町向田野浦）の工場で爆発があり、1人が死亡しました。

30日午前8時45分ごろ「60代の男性がガス爆発で吹き飛ばされた」と消防に通報がありました。



[【画像を見る】事故現場の工場](#)

中国放送

警察と消防によりますと、工場の作業場でガス爆発が起き、廃品の回収のため工場を訪れていた岡山県笠岡市に住む会社員の[氏名]さん（60）が巻き込まれたということです。[氏名]さんは意識不明の重体で病院に運ばれましたが、その後死亡が確認されました。

工場内では亡くなった男性の他に数人が作業などをしていましたが、ほかにけが人はいませんでした。

当時、他の作業員がガス溶断機と呼ばれる高温の炎で鉄などを切断する機械で廃品の栈橋を切断していた際に、何らかの理由でガスに引火して爆発したとみられています。

警察などは労災事故とみて、原因を調べています。

※速報段階の情報です。情報を更新しています。

中国放送